

6 人制

問 1 次の平成 29 年度 6 人制競技規則について、( ) に当てはまる数字を語群から選び答えなさい。なお、数字については複数回使用可とする。

- (1) 国際バレーボール連盟世界・公式大会では、フリーゾーンの幅はサイドラインから最小限 ( ① ) m、エンドラインから最小限 ( ② ) m なければならない。フリープレー空間は競技エリアの表面から最小限 ( ③ ) m の高さが必要である。
- (2) サービスゾーンは、それぞれのエンドラインの後方に位置する ( ④ ) m の幅を持つゾーンである。サイドラインの延長線上に、エンドラインの後方 ( ⑤ ) cm に ( ⑥ ) cm の長さで引く ( ⑦ ) 本の短いラインにより両端を区画する。両方の短いラインは、サービスゾーンの幅に含まれる。
- (3) 試合のために 1 チームは ( ⑧ ) 人までの選手と、さらに次のスタッフで構成することができる。  
※コーチングスタッフ：監督 ( ⑨ ) 人、アシスタントコーチ最大 ( ⑩ ) 人  
※医療スタッフ：チームセラピストとドクター各 ( ⑪ ) 人
- (4) F I V B 世界・公式大会では、第 1 ～ 4 セットまでは、リードするチームが ( ⑫ ) 点目、さらに ( ⑬ ) 点目に達したときの 2 回、いずれも ( ⑭ ) 秒間の“テクニカルタイムアウト”が自動的に適用される。
- (5) インターバルとはセット間の時間をいう。すべてのインターバルは ( ⑮ ) 分間である。

<語群>

12.5 / 15 / 8.5 / 25 / 3 / 9 / 15 / 20 / 8  
6.5 / 1.75 / 5 / 7 / 12 / 14 / 30 / 1 / 10.5  
2 / 16 / 60

問 2 次の文章は、副審が反則の際に吹笛できる項目が書いてあります。( ) の中に当てはまる語句を語群から選び答えなさい。

- (1) 相手コートおよび ( ア ) の空間へ侵入したとき。

- (2) ( イ ) チームのポジションの反則のとき。
- (3) 主として ( ウ ) 側のタッチネットの反則と、選手が副審側のアンテナに触れたとき。
- (4) バックプレーヤーが ( エ ) の完了をしたときや、リベロがブロックの試みをしたとき。またはバックプレーヤーやリベロの ( オ ) の反則のとき。
- (5) ボールが ( カ ) に触れたとき。
- (6) ボールがフロアに触れて、( キ ) がその接触を確認できないとき。
- (7) 相手コートに向かうボールの全体またはその一部が ( ク ) 外側のネット垂直面を通過したとき、あるいは副審側のアンテナにボールが触れたとき。
- (8) ( ケ ) や3回目のヒットされたボールが副審側の ( コ ) 上方や外側を通過したとき。

<語群>

ブロッカー / 天井 / 許容範囲 / 主審 / フリーゾーン / スパイク  
 ラインジャッジ / アタックヒット / 外部の物体 / ブロック  
 ネット下方 / 審判員 / 許容空間 / 守備 / アンテナ / レシービング  
 支柱 / ネット上方 / 相手プレーヤー / サービスボール

問3 次の文章を読んで正しいものには○、間違っているものは×をつけなさい。

- (1) アシスタントコーチは、チームベンチに着席するが、試合に介入する権限はない。
- (2) サーバーがサービスヒットの瞬間にエンドラインを踏んでサービスを打ったが、同時にレシーブ側のチームのポジショナルフォルトの反則があった。このとき、同時に反則があったとして、主審はダブルフォルトを宣告し、ラリーをやり直した。
- (3) 試合中、サーバーはボールを空中に投げた後、ボールを落とした。その後、サーバーは8秒以内に急いでサービスを行った。
- (4) 相手チームのプレーを妨害しない限り、足首より上の身体の中の部分が相手コートに触れてもよい。
- (5) 重大な負傷が起きたため、審判員はノーカウントとしてゲームを止めた。選手交代の後、逆のチームからタイムアウトの要求があったため、これを許可した。
- (6) 2人または3人のチームメイトが同時にボールに触れた場合は、1回のヒットとな

- る。
- (7) ブロックでは、相手チームのアタックヒットの前または最中にそのプレーを妨害しない限り、手と腕をネットを超えて伸ばしてもよい。
  - (8) バックゾーンにいるリベロが指を使ったオーバーハンドパスで上げたボールを、他の選手がネット上端よりも高い位置でアタックヒットを完了した場合、アタックヒットの反則となる。
  - (9) ブロックは、ブロッカーがジャンプし、地面に着地した時点で完了する。
  - (10) 主審の最終判定が出された後、選手が判定に対して不満な態度で主審に対してアピールした。この場合、それ以前にステージ1の適用がなければ、ステージ1を与えて再発を防ぐ。
  - (11) サービス許可の吹笛が行われた後に監督がタイムアウトを要求したが、サービスヒットの前だったので、副審はこれを許可した。
  - (12) リベロが退場または失格となった場合で、セカンドリベロが登録されていないとき、チームはリベロの再指名を行うことができる。
  - (13) ボールがネット下の空間で相手コートに向かっているとき、ボール全体がネットの垂直面を越える瞬間までプレーすることができる。
  - (14) 選手が負傷し、例外的な選手交代をしなければならなかった。その同じ中断中に、チームはさらに選手交代を要求した。副審はその要求を認めた。
  - (15) アンテナの外側から相手空間内のボールをブロックした場合、ブロックの反則となる。
  - (16) ラリーとは、サービス許可の吹笛の時点から、ボールがアウトオブプレーとなるまでの、一連のプレーの動作である。
  - (17) ポジション4にローテーションしたリベロは入れ替え選手とリプレースメントした。サーバーがディレイインサービスの反則を受けた後、リベロとリプレースメントしたので、審判員はこれを認めた。
  - (18) 相手チームのサービスしたボールは、それがネット上端よりも完全に高い位置でフロントゾーン内にあるときは、いかなる選手もアタックヒットを完了することは許されない。
  - (19) リベロプレイヤーはどの位置にいても、ネットよりも完全に高い位置にあるボールのアタックヒットを完了することはできない。
  - (20) 選手交代で3組の要求があり、記録員が認めた。その後監督が選手交代を2人することにした。副審はこれを不当な要求とした。

# 9人制

問1 次の平成30年度9人制規則について、( )に当てはまる語句または数字を語群から選び答えなさい。なお、数字については複数回使用可とする。

(1) コートの広さは、種別に応じて、次のとおりとする。

種別		長さ	幅
男子	一般	( ① ) m	( ② ) m
女子	一般・家庭婦人	( ③ ) m	( ④ ) m

(2) ネットの高さは、種別に応じて、次のとおりとする。

種別		高さ
男子	一般	( ⑤ ) m
女子	一般	( ⑥ ) m
	家庭婦人	( ⑦ ) m

(3) ウォームアップエリアは、およそ ( ⑧ ) m × ( ⑧ ) m の大きさで、( ⑨ ) 外側の両方のチームベンチ側コーナーに設けた区域をいう。

(4) 監督制限ラインは、チームベンチ側のフリーゾーンで ( ⑩ ) の外側から ( ⑪ ) m の位置に、チームベンチの記録席側の端から ( ⑫ ) までの長さで ( ⑩ ) に平行に設ける。

(5) アンテナは、ネット上に80cm出るようにして、サイドバンド外側 ( ⑬ ) cm のところにアンテナの内側がくるようにし、それぞれネットの反対側に密着して取り付ける。

<語群>	
15 / 100 / 25 / 3 / 9 / 21 / 20 / 1.5 / 2.05	
エンドライン / 12.5 / 2.30 / 2.43 / 2.0 / フリーゾーン	
6 / 30 / 2.15 / 18 / 5 / 2.24 / 10.5 / 2.38	
サイドライン / サービスゾーン	

問2 次の文章を読んで正しいものには○、間違っているものは×をつけなさい。

(1) 試合開始前に、サービスオーダー票と先発選手のサービス順の確認を行い、選手をコートに入れた直後(0-0)に監督からタイムアウトの要求があったが、これを許可した。

- (2) 第2サービスで始まったラリーの途中で、選手の負傷があり、主審はラリーを止めた。その後、すぐに選手が回復したため、主審はノーカウントとし、第1サービスからゲームを再開した。
- (3) セット終了時にベンチにいた選手は、誰とでも交代して、次のセットの先発選手になることができる。この交代は、選手交代の回数に含まれる。
- (4) 第1サービスのトスをした後、そのサーバーは間違いに気づき正当なサーバーと交代した。トスをしたボールはサーバーの身体に触れていなかったため、正当なサーバーの第2サービスで試合を再開した。